

第2回

知って考える「西堀ローサ」

人口減少と 新潟市の地域経済

新潟地下街 西堀ローサ

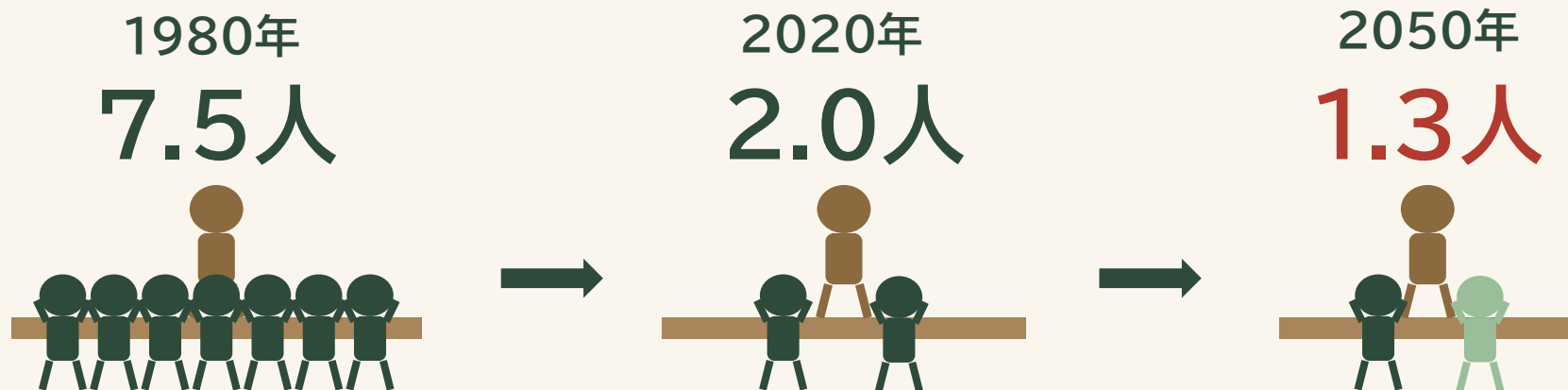
ROSA

① 新潟市の生産年齢人口の減少

46.4万人 → 31.3万人
(2020年) (2050年)

生産年齢人口
30年での減少率
▲32.6%

■新潟市 高齢者1人を支える現役世代(15～64歳)の数の推移



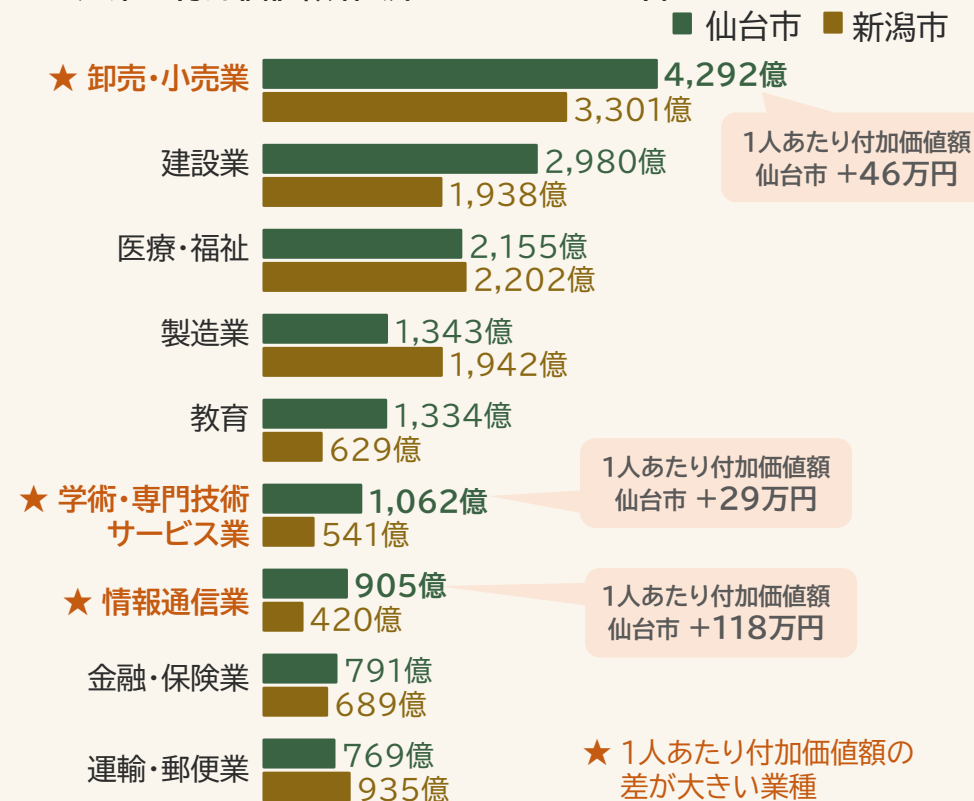
2050年には現役世代1.3人で、高齢者1人を支えることに

人口減少と稼ぐ力

市内総生産の比較(令和4年度)



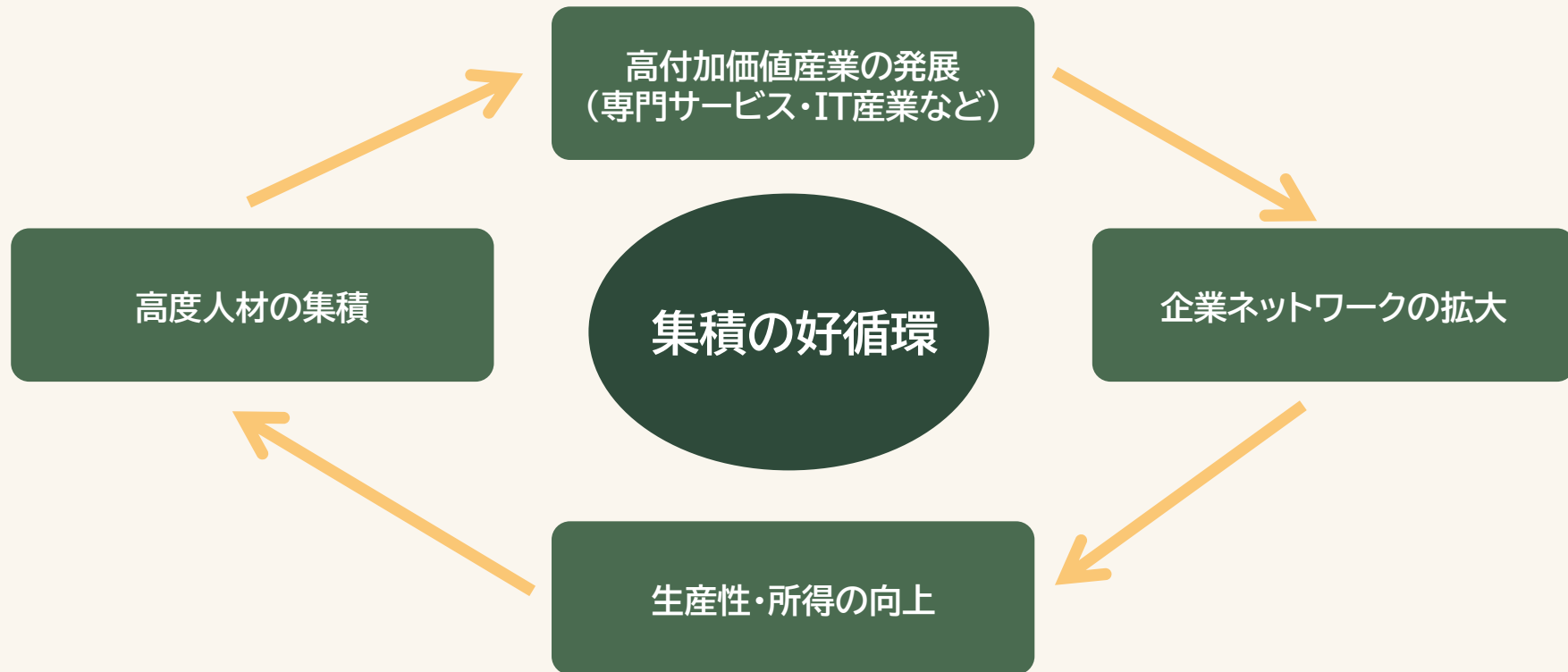
主な産業の付加価値額(経済センサス2021年)



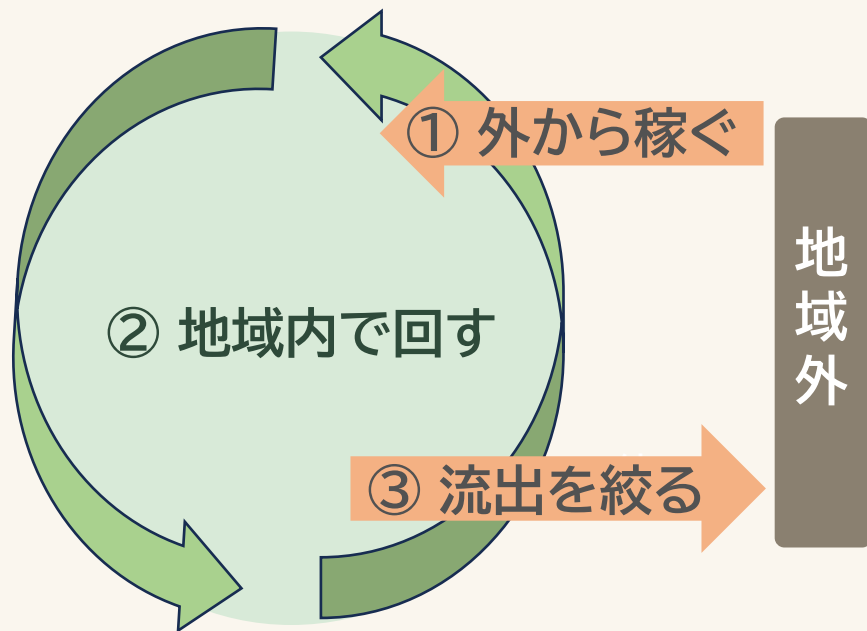
③

産業集積と高付加価値産業

都市の集積が生む好循環



④ 地域外から稼ぐ力



■地域外からの民間消費の流出入額(①+③)

新潟市

人口 約78万人

+4.8%

(823億円)

地域内の民間消費総額
1兆7,294億円

金沢市

人口 約46万人

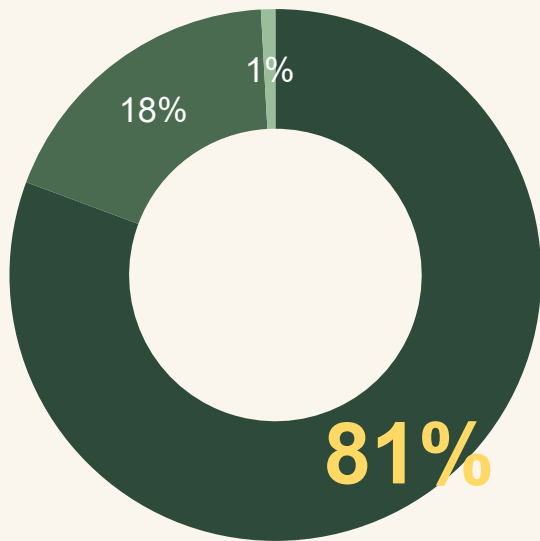
+26.8%

(2,524億円)

地域内の民間消費総額
9,416億円

稼ぐ(①) × 回す(②) × 絞る(③) = 地域経済の強さ

新潟市の市内総生産：3兆1,113億円



■ 第3次産業 ■ 第2次産業 ■ 第1次産業

第3次産業(サービス・流通・飲食等)

2兆5,100億円 80.7%

第2次産業(製造・建設)

5,741億円 18.5%

第1次産業(農林水産)

272億円 0.9%

都心への集積効果が高い第3次産業が産業の約8割を占める。

⑥ 経済戦略としての「にいがた2km」

歴史的に人・情報・取引が集積してきた都心軸に重点的に投資し、稼ぐ力の好循環を生み出す

① 地域外からの消費の呼び込み

- ▶ 佐渡と連携した観光誘客
- ▶ 民間による、歴史的町並みを活かした分散型宿



NIPPONIA 新潟古町 花街
(株式会社ふるまち樽拳)

② 革新的なビジネス・雇用の創出

- ▶ 駅周辺のオフィスビルの建て替
えと、戦略的な企業誘致の推進
- ➔50社以上のIT企業等が進出
約900人の雇用を創出



③ 挑戦する「人」を育てる

- ▶ まちあそび学校 KAIKOU！
➔若者の参加者 延べ800名以上
- ▶ リノベーションまちづくりの推進
➔地域を変える事業者候補 40名



⑦ 古町の役割とは？

🌐 外から人を呼ぶ

歴史・食・酒・花街文化という
他都市にない固有の体験資源で
観光消費を呼び込む



🔄 個店でお金を回す

地元資本の個店・飲食は、
地元からの仕入れ比率が高く、
地域経済循環にプラス



🌟 文化軸として輝く

駅周辺・万代との差別化
古町にしかない固有性が、
新潟市全体の魅力を底上げ



⑧ 人口減少時代の稼ぐまちづくりの意義

🔄 地域経済の好循環



🏠 心豊かなくらしの実現

